

令和3年 1月 29日

協力活動報告書（令和3年 1月分）

清水町長

様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊藤 隼 印

今月の活動報告	ふるさと納税の申し込みが前月末でピークを終え、今月はその後の手続きや問合せの対応で大忙しでした。 ほとんどワンストップ特例申請に関する確認作業でしたが、ものすごい数の申請があり、企画課の職員と手分けして作業にあたりました。寄附が増えるということは、喜ばしいことですが、その分業務が増えていきますので、ミスリスクも多くなります。清水町に興味を持って寄附して下さった方のためにも、迅速かつ丁寧な対応を心掛けていました。 全国的にまだまだコロナは収まらず、全国各地、全道各地に旅行することは難しいと思います。そこで、地域おこし協力隊として今後行っていきたい取り組みは「地産地消」。清水町に住んでる方はもちろん、近隣地域が清水町を利用していただくことに力を入れていきたいと思っています。当然のことなのですが、こんなご時世だからこそ、今まで以上にローカルの需要も大切にしていきたいと思っています。 もちろん、飲食店や商店はネットショップ等を活用して、全国に消費者を確保して売上を維持、アップさせていけるよう活動されていると思います。その中で私ができることは、そこではなく、地域の方と近隣の方に、今一度地元の魅力を感じ取ってもらい、ネットも便利だけど「清水で手に入るものは清水で買おう、楽しもう。」という思いになるよう一役買いたいなと思っています。 2月に入ってから、ふるさと納税の業務も落ち着くと思いますので、今一度、Y o u T u b eやInstagramを使った、清水町の発信に力を入れていきたいと思っています。
要望、意見等	
備考	

